

縞枯山山行報告

【山行日】2025年8月31(日) 晴れ

【集合】岩舟支所P AM 4:30

【費用】マイカー3台 : 4,100円

【メンバー】CL:鈴木、SL:大西、青柳、飯野、植竹、大塚、岸、石澤、佐藤、嶋田、田崎、根本、野口、廣瀬、長谷川、福島、渡邊力、渡邊ト
【コースタイム】岩舟支所 P4:30 = 麦草峠
P7:10/7:40 ~ 茶臼山 8:40/8:50 ~ 展望台
9:30/9:40 ~ 縞枯山 9:50/9:55 ~ 坪庭 11:45/12:25
~五辻 12:55/13:05 ~ オトギリ平 13:50 ~ 麦草峠

P14:30/14:50 = 道の駅「八千穂高原」15:15/15:40 = 岩舟支所 P17:00

夏場の暑い時季は標高が2000mを越えた山を登りたいと、北ハケ岳の茶臼山から縞枯山を登るコースを計画した。この山は人気のコースで、3台の車では駐車場が心配なので出発を30分早くし



た。7:10に麦草峠駐車場に着いたがすでに満車で、1台は何とか止められたが2台は白駒池の有料駐車所まで戻り止めることが出来た。準備を整えトイレを済ませて登山口で待つと、白駒池駐車場からの皆さんのが到着する。ストレッチを済ませたら出発し、茶水池の畔を通ってシラビソの樹林帯の道を進む。直ぐに大石峠に出て、帰りに使う出会いの辻からの道を左に分け笹の中の道を登って行く。苔むしたシラビソ林の道を登り、中小場と言われる小ピ

ークで休憩し衣服調整と水分補給を行う。ここから少し下ってシラビソ林の急坂を登り、岩がゴロゴロした道を登ると茶臼山山頂に着く。



ここは樹林帯の中で展望は無く、左に2分程進むと岩稜の展望台に出る。ここからの展望は素晴らしい、硫黄岳から赤岳、阿弥陀岳など南ハケ

岳の眺望を満喫する。北側にはこれから登る縞枯山が見られ、素晴らしい展望に皆さん大満足。

ここから一旦急坂を下って鞍部に出て、登り返すと展望台への分岐が有り、右に大きな岩が重なる道を辿ると展望台に出る。大きな岩が重なった展望台は狭いが展望は素晴らしい、交代で展望を楽しむ



しんだら登山道まで戻る。登山道を右に進むと縞枯山の山頂への尾根で、細く平らな登山道を進むと縞枯山山頂に着く。平坦で山頂らしい場所だが、山頂標識が立つので山頂だと分かる。記念写真を撮って休憩していると親子連れが登って来て、皆さんが女の子に「偉いね～～」と声を掛ける。ここからはシラビソの樹林帯の急坂を下るようになり、転ばぬよう慎重に降りて行く。下り切った鞍部が雨池峠で十字路になっており、左に坪庭へ向かって草原の中に付けられた平坦な

道を進む。三角屋根の縞枯山荘の前を通り、谷状の道を進むと坪庭への分岐が有り右に階段状の岩を登って行く。溶岩台地に出た所が坪庭で、北横岳の噴火により出来た自然の日本庭園である。ベンチが置かれた休憩所で休憩し、北横岳や縞枯山の絶景を楽しむ。整備された自然探勝路を進むが、観光客も多く観光客の歩調に合せてのんびり歩く。溶岩台地から下った所がロープウェイ山頂駅で、トイレを済ませたら広い休憩テラスでランチタイム。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、景色を楽しみながらランチをいただく。ランチが済んだら五辻に向かって縞枯山の西斜面に付けられた巻道を進む。シラビソ



の樹林帯の中に付けられた木道を進み、明るく開けた場所が五辻ですぐ先の東屋で休憩する。ここからも茶臼山の西側に付けられた巻道をゆるやかに下り、出会いに辻分岐から左にオトギリ平への道を進む。緩やかなアップダウンの道を進むと開けた草原に出て、展望が開けたオトギリ平で休憩する。再び原生林の中を緩やかに登ると大河原峠で往路に戻る。ここからは往路を下り、茶水池の横を通って国道を渡ると駐車場に着く。我輩の車に乗って白駒池駐車場に向



かい、車を回収したら麦草峠の駐車場に戻る。トイレを済ませたら帰路につき、途中の道の駅「八千穂高原」でお買い物。道の駅「八千穂高原」は去年開業したばかりで人気の道の駅である。皆さんモモや野菜をゲットしたが、特にお買得のモモは人気で皆さん箱を抱えて戻って来た。上信越道ではいつもの佐久 PA 手前から渋滞があつたが、予定通り岩舟支所に帰着出来た。